

危険物貯蔵所における腐食等劣化に関する研究

GX（グリーントランスフォーメーション）に関連する新たな物質及び石油類が危険物貯蔵所(石油タンク)を構成する部材である**鋼板及び内面コーティングの腐食・経年劣化に与える影響とそのメカニズムを明らかにするための研究**を行う（研究期間：R7～R9）。

【背景】

産業や社会の仕組みを化石エネルギー中心からクリーンエネルギー中心へと転換する「GX（グリーントランスフォーメーション）」の流れの中で、石油タンクでは、従来の石油類に加え、メチルシクロヘキサン、バイオ燃料、SAFといった新たな物質を貯蔵する動きがある。

【課題】

既存の石油タンク（主に鋼板および防食コーティングによって構成）にGXに関連する物質を貯蔵した場合、鋼板の腐食や防食コーティングの劣化が、長期間にわたってどのように進むかは、十分に分かっていない。

【研究内容】

GX関連物質等が**石油タンクを構成する鋼材や内面コーティングの腐食・経年劣化に及ぼす影響とそのメカニズム**を明らかにする。

GX関連物質活用の方向性



貯蔵関係

